

野良犬「天国」

大阪南港

捨て犬、後絶たず

大阪灣の人工島である「大阪港南港」が、野良犬の「天国」になっている。大阪市が島内で一年間に捕獲する野良犬は百匹から二百匹。同市全体の捕獲数の一割以上を占めている。広大な埋め立て地は夜になると人目がなく、格好の犬の捨て場になっているらしい。現在、野良犬がどのくらいいるか分かっていないが、約三万二千人が住む島の町「南港ポータータウン」では、人が野良犬にまわれ

住宅群のポートタウンができた。野良犬が現れるようになったのは、主な埋め立て工事が終わり、ポートタウンや倉庫などの建設が本格化した七〇年代の初めだった。

害相次ぎ

南港は、フェリーターミナルや企業の物流基地が並ぶほか、一九七七年に高層

たり追いかけられる被害が続いており、住民の間で不安が募っている。

八〇年代になって増え始め、住之江保健所のもとめでは、南港一帯で捕獲された野良犬は九一年度が九十四匹、九二年度二百六十五匹、九三年度二百十二匹。捕獲数は、同市内で一番多い。

野良犬は、昼、トラックやコンテナの下で眠り、夕暮れからポトタウンや野鳥園、フェリーターミナルといった人が集まる場所では、食べ物を探している。春先

の繁殖期には昼から町に現れ、ゴミ箱をあさることもある。

ポートタウンから同市中央区の会社に通う榎田寿雄さん(三六)は、五月下旬夜九時過ぎ、自宅に歩いて帰る路上で、野良犬に囲まれた。四匹が十センチほど後ろをついて来たため気味悪くなり、石ころを投げて追い払おうとしたところ、うなり声を上げて向かってきた。

海の町地域振興連合町会の石倉蔵二会長(六四)は、五

六四の群れになって町中をぐるぐる回っている。ポータウンでこれまで十件ほど、犬にかまれる事故があった。いつ群れに出あうかもしれないと思うと怖い」。

野良犬の捕獲をする同市動物管理センターは、野良犬が多い原因について、島外から南港に犬を捨てて来る人が後を絶たないからではないか、とみる。捕獲された犬の一割ほどが首輪をつけていること、引越しいが多い春と秋になると野良犬が急に増えることなどから推測できるという。

被害相次ぎ住民ら不安

大阪湾の人工島である「大阪港南港」が、野良犬の「天国」になっている。

たり追いかけられる被害が
続いており、住民の間で不
安が募っている。

八〇年代になって増え始め、住之江保健所のまとめでは、南港一帯で捕獲され

の繁殖期には昼から町に現れ、ゴミ箱をあさることもある。

六匹の群れになって町中をぐるぐる回っている。ポータウンでこれまで十件ほ

大阪市が島内で一年間に捕獲する野良犬は百匹から二百匹。同市全体の捕獲数の

南港は、フェリーターミナルや企業の物流基地が並び、一七七七年に高層

た野良犬は九一年度が九十四匹、九二年度二百六十五匹、九三年度二百一十一匹。捕

ポートタウンから同市中
央区の会社に通う榎田寿雄
さん(三六)は、五月下旬夜九

ど、犬にかまれる事故があった。いつ群れに出あうかもしれないと思うと怖い」。

一割以上を占
めている。広
大な埋め立て
被

害相次ぎ

住民ら不

安
時過ぎ、自宅
に歩いて帰る
路上で、野良

野良犬の捕獲をする同市動物管理センターは、野良犬が多い原因について、島

地は夜になる
と人目がなく、格好の犬の
捨て場になっているらしい

住宅群のポートタウンができた。野良犬が現れるよう

獲数は、同市内で一番多い。
野良犬は、昼、トラック

大に囲まれた。四匹が十餘ほど後ろをついて来たため氣味悪くな

外から南港に大を擡てに來る人が後を絶たないからではないか、とみる。捕獲さ

い。現在、野良犬がどのくら
らいるか分かっていない
が、約三万二千人が住む島

になったのは、主な埋め立て工事が終わり、ポートタウンや倉庫などの建設が本

やコンテナの下で眠り、夕暮れからポータウンや野鳥園、フェリーターミナル

り、右こそを投げて追ひ払
おうとしたところ、うなり
声を上げて向かってきた。

れた犬の一帯ほどが首輪をつけていること、引越しが多い春と秋になると野良